

中村誠一 Quintet

2026 川俣



中村誠一 (ts)



吉岡秀晃 (p)



清水昭好 (b)



松島啓之 (tp)



高橋 徹 (ds)

開催日 **8月22日(土)** 開場18:00 開演18:30

会場 **川俣町中央公民館**

主催 **川俣ジャズコンサート2026実行委員会**

後援 川俣町、川俣町教育委員会、川俣町文化団体連絡協議会

株式会社福島民報社、福島民友新聞社株式会社

川俣町商工会、川俣ライオンズクラブ、川俣ロータリークラブ

一般前売 3,000円 (当日 3,500円)

中・高生 1,500円 (当日 2,000円)

小学生以下 無料

お問い合わせ

メール



Instagram



kawajazz2026@gmail.com

<https://www.instagram.com/kawajazz2026/>

中村誠一 Quintet プロフィール



中村 誠 一 (ts)

Tenor Saxophone

1947年生まれ。東京都出身。国立音楽大学サックス科卒業。大学在学中から山下洋輔と共に演奏、1969年から1972年まで第1期山下洋輔トリオで活動。トリオ脱退後はゲス・マイ・ファインズでの活動を経て、1978年に渡米し、ジョージ・コールマンに師事。中村照夫とライジングサンでの活動を経て、1980年に日本へ帰国。1981年から1989年まで日本テレビ系列の『今夜は最高!』に出演した。2001年から吉岡秀晃と共にバンド・BoNoBo Landで活動した。2025年、文化庁長官表彰受賞。

松島 啓之 (tp)

Trumpet

1967年生まれ。神奈川県藤沢市出身。中学時代にブラスバンド部に所属し、トランペットを始める。1988年から1991年までの2年半、パークリー音楽院に留学。音楽院の同期にはロイ・ハーグローヴ、大西順子、大坂昌彦、2管フロントで自己のクインテットを結成以来不動のメンバーで活動続ける。自身のクインテットの他、様々なセッションに単身参加。トレードマークのようにベースボール・キャップをかぶっている。熱帯JAZZ楽団にも参加。その他、日野元彦、峰厚介、本田竹廣、小林陽一&グッド・フェローズなどのグループのメンバーとして活動している他、リーダー・アルバムもリリースしている。



吉岡 秀 晃 (p)

Piano

1960年宮崎県延岡市出身。8歳の時にピアノとバイオリンに出会う。高校在学中に、プログレッシブロックの洗礼を受けると同時に、JAZZに興味を抱く。1979年来日したRed Garlandトリオ、Jamil Nasser、Jimmy Cobbと共演しレッドガーランドより絶賛される。1994年メキシコで開催された国際親善ジャズフェスティバルに出演。1996.2、L.A.で開催されたインターナショナルジャズパーティでアンドリュー・シンプキンス、ルータバキン、シャーマン・ファガーソン、ジェフ・ハミルトン他多数と共演、親交を深める。スイングジャーナル主催、第34回(2000年度)ジャズディスク大賞製作企画賞受賞

清水 昭 好 (b)

Bass

1985年生まれ、福井県出身。幼少期から作曲に興味を持ち、14歳でエレキベースを開始。Jaco Pastoriusの音楽との出会いを機にジャズの道へ進む。大学進学後にウッドベースへ転向し、独学で習得。2006年から都内でのプロ活動を開始し、世代を問わず多くのミュージシャンから厚い信頼を得る。演奏活動と並行し、独学で作曲・編曲を追求。2020年にリーダーデビューアルバム『Satya』をリリース。2022年には、同作収録の「Room106」が米国の国際作曲コンテスト『John Lennon Songwriting Contest』Jazz部門でファイナリスト賞を受賞し、作曲家としても国際的な評価を受ける。その独創的なアンサンブルが世界的に注目されている。



高 橋 徹 (ds)

Drums

1968年生まれ。山形県酒田市出身。新潟大学在学中にプロのジャズドラマーを志す。1993年上京後、大坂昌彦に師事。佐山雅弘(p)のトリオで、様々なバンドを経験する。ジャズの伝統に根ざしスイングするプレイスタイルはベテランから若手まで多くのミュージシャンから絶大な信頼を得て、各地のライブハウス、コンサートでの演奏やレコーディングなどで活躍中。近年は、演奏活動の他に国立音楽大学ジャズ専修の講師として「ジャズドラム」のレッスンだけにとどまらず、その所有する膨大な映像資料、音源を駆使して「ジャズの歴史」の講義で教鞭をとり後進の指導にもあたっている。